

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 9

2021年11月19日発行



11月の聖句

『喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。』

(ローマの信徒への手紙12:15)

英語でシンパシー、「共感」と訳される言葉。その語源は、ギリシャ語のシュンパスコーに由来します。原意は「共に苦しむ」です。

新約聖書において、神のいつくしみは、イエスさまにおいて、私たちの苦しみを知り、その痛みを共にされる方として啓示されました。悩み、苦しみの谷にうずくまる私たちのもとに降りて来てくださるイエスさまは、泣いている私たちと共に泣いてくださるお方です。

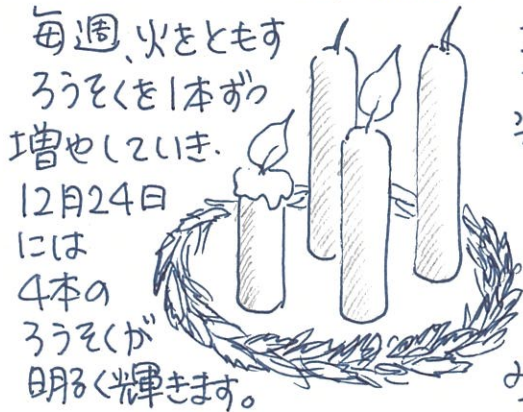
聖パウロは、そこに立脚して「…泣く人と共に泣きなさい」と勧めます。

苦しみを自分のこととして泣いてくださる存在が、共にいる。そこに慰めがあり、私たちを立ち上がらせ力があります。

(チャプレン 司祭いけだとおる)

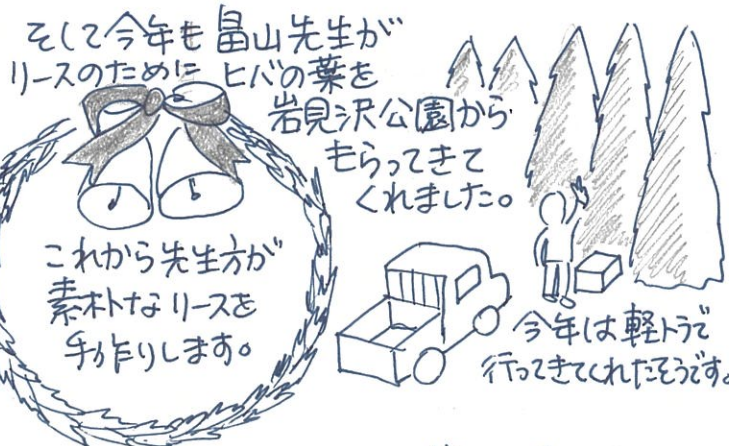
クリスマスが近づいています

11月28日(日)から、いよいよアドベント開始です。



毎週、火をともし、ろうそくを1本ずつ増やしていきます。12月24日には、4本のろうそくが明るく輝きます。

こどもたちはサンタさんを楽しみにしていると「思いますが、ほんとはイエス様のお誕生日まであとどのくらいか、みんなにお知らせするろうそくの数のです。」



そして今年も、畠山先生がリースのために、ヒバの葉を岩見沢公園からもらってきてくれました。

これから先生方が素朴なリースを手作りします。

今年も軽トラで行って来てくれる予定です。

現代のX'masはとっても華やかですが、本当は身の周りのもので素朴にお祝い気分を表してきたのです。

今から2021年前(諸説あり) 遠い街エリザベの南にあるバツレへで馬小屋の中でイエス様がお生まれになりました。



小さな赤ちゃんは、大工のヨセフさんと奥さんのマリヤさんに大切に育てられて大きくなりました。その当時はあたり前だった子どもや女性や病気の人の差別をせず「石のほほを叩いたら石のほほを差し出しなさい」「心の中で一度も悪い行いをしなかつた者だけが、この人に石を投げなさい」というように、徹底した非暴力、善を善とす。その後の世界中、教えきれない多くの人々に影響を与えています。

園庭の栗が蒸しパンに!

今年も園庭の栗の実が豊作でした。いつもは落ちて虫にたべられているのに、きれいな無傷の栗がいっぱいありました。ウッドデッキでまわる、輪になって皮むきをするみんなを見ると、みんな年少さんと年中さんが(ほとんどでひっくり。小エ、指でいぼけんめい)



きれいに皮むいて、蒸しパンの材料は、米粉と米油とアルミナ、米酢と奄美大島の素焚糖、木の葉のアルギドがある人のために、サツマイモバージョンも用意されていました。

その実を使って阿部先生がおいしいクリのペストを作ってくれました。朝、1階のろうそくはキッチンスペースに手を消毒してマスクをして人しか、



栗の蒸しパンができたので、きてください。みんな大さわぎで集まってきてくれました。ホカホカをひとつずつもらったら仲よくろうそくにあちこちに座ってたべ笑いあっていますよ。

子どもたちのための行事

今年長さんは、イエス様がお生まれになった物語「聖誕劇」に一人となってとりにくれています。運動会の際は「スマイル」を合言葉にがんばってきた年長さんたちですが、今回の合言葉は、なんと、自分たちで考えることになったんです。月曜日 みんな、金曜日に先生が出した宿題、おぼえてるかな? うん、覚えてる! 合言葉!!



みんな手を挙げて考えたことを発表してくれました。それがとてもいい内容、

- うれしく、しんけん!
- しんけんをする。
- あしをそろえる。
- おおきなこえてゆっくりと。
- まちがえず しんけん。
- かっこよく げんきに。
- ゆき 〇しずかに。
- しゅうちゅう。
- Xリークリスマス。

いいX-マスです。先生やおうちの人の言われるだけでなく、自分たちがどんなふうにしたいかを考えることがとても大切だと思います。

幼稚園のご近所、緑が丘町内会

最近、幼稚園の周りで残念なことを耳にしました。幼稚園の町内のごみステーションに、ほかの町内の方が車で来てごみを捨てていくというのです。ごみステーションは幼稚園の駐車場のところに設置されています。まさかとは思いますが、もしそれが園の関係者だったら!...町内会の皆さんは、いつも幼稚園の子どもたちを応援して下さいますので、迷惑をかけたくないと思っています。職員も道路への駐車や騒音を出さないように努めていますので、どうか保護者の皆さんも今まで通り、ご協力をお願いいたします。